

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 株式会社 コーセー  
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IR課長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

(氏名) 小林 一俊  
 (氏名) 中田 仁典

TEL 03-3273-1812

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	41,854	—	1,754	—	2,246	—	492	—
20年3月期第1四半期	42,457	3.7	2,342	19.3	2,595	24.0	728	145.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	8.42	—
20年3月期第1四半期	12.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	168,026	101,522	57.2	1,657.08
20年3月期	172,128	105,048	58.1	1,693.55

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 96,190百万円 20年3月期 100,000百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	89,500	—	5,600	—	5,700	—	2,200	—	37.76
通期	183,700	1.9	15,500	2.1	15,700	5.7	7,400	7.2	127.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有  
株式数の変動により1株当たり当期純利益のみを変更しております。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	60,592,541株	20年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	2,544,303株	20年3月期	1,544,258株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	58,480,853株	20年3月期第1四半期	60,049,361株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

※ 前年同期比較数値につきましては参考値として記載しております。

事業区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	30,881	72.7	31,273	74.7	391	1.3
コスメタリー	10,830	25.5	10,053	24.0	△777	△7.2
その他	745	1.8	528	1.3	△217	△29.2
売上高計	42,457	100.0	41,854	100.0	△603	△1.4

※ 前年同期比較数値につきましては参考値として記載しております。

区分	前第1四半期		当第1四半期	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
営業利益	2,342	5.5	1,754	4.2
経常利益	2,595	6.1	2,246	5.4
四半期純利益	728	1.7	492	1.2

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）における当社グループの業績につきましては、化粧品事業は伸長したものの、コスメタリー事業とその他の事業が前年を下回ったため、売上高は41,854百万円（前年同期比1.4%減）となりました。なお、海外売上高の為替の影響を除くと前年同期比0.8%減となります。

利益につきましては、営業利益は1,754百万円、経常利益は2,246百万円、四半期純利益は492百万円となりました。

化粧品事業につきましては、国内では、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の育成に努めたほか、新たに「雪肌精 シュープレム」を発売するなど、コンサルティング販売に力を注ぎました。海外においては、台湾に「ジルスチュアート」を導入するなど、当社が強みとするブランドの展開を図りました。その結果、当事業の売上高は31,273百万円（同1.3%増）、営業利益は2,783百万円となりました。

コスメタリー事業につきましては、効果的な広告宣伝・販売促進活動を実施しましたが、前年同期における新製品投入の反動や、取引店改革に伴う影響もありました。その結果、当事業の売上高は10,053百万円（同7.2%減）、営業損失は386百万円となりました。

その他の事業につきましては、前期に子会社2社を売却したこともあり、売上高は528百万円（同29.2%減）、営業利益は44百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ4,102百万円の減少となりました。受取手形及び売掛金の減少2,550百万円、有価証券の減少3,793百万円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）の増加3,001百万円、有形固定資産の増加1,040百万円、無形固定資産の減少316百万円、及び投資有価証券の減少593百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ577百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金の増加4,484百万円、未払費用及び未払法人税等の減少が6,177百万円、及び退職給付引当金の減少565百万円等によるものであります。

なお、有利子負債残高は5,113百万円、デット・エクイティ・レシオは0.05倍となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月8日に発表しました連結業績予想は、1株当たり当期純利益を除き、変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度末以降に著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末における連結貸借対照表価額で計上する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、親会社及び一部の連結子会社において、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益への影響は軽微であります。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,953	19,107
受取手形及び売掛金	22,184	24,735
有価証券	25,081	28,875
商品及び製品	12,103	11,137
仕掛品	1,622	1,299
原材料及び貯蔵品	10,573	8,862
繰延税金資産	4,420	4,725
その他	2,911	2,035
貸倒引当金	△289	△276
流動資産合計	96,563	100,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,416	28,420
減価償却累計額	△16,812	△16,653
建物及び構築物(純額)	11,604	11,767
機械装置及び運搬具	13,835	13,855
減価償却累計額	△11,588	△11,507
機械装置及び運搬具(純額)	2,246	2,347
工具、器具及び備品	25,706	25,474
減価償却累計額	△20,168	△19,857
工具、器具及び備品(純額)	5,537	5,616
土地	17,752	17,773
リース資産	28	—
減価償却累計額	△0	—
リース資産(純額)	28	—
建設仮勘定	2,702	1,326
有形固定資産合計	39,872	38,831
無形固定資産		
ソフトウェア	2,740	2,947
その他	490	600
無形固定資産合計	3,231	3,548
投資その他の資産		
投資有価証券	12,568	13,161
繰延税金資産	13,000	13,260
その他	3,076	3,070
貸倒引当金	△285	△246
投資その他の資産合計	28,359	29,246
固定資産合計	71,462	71,625
資産合計	168,026	172,128

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,487	14,002
短期借入金	5,083	4,824
リース債務	6	—
未払金	6,098	6,686
未払費用	4,222	7,288
未払法人税等	599	3,711
未払消費税等	725	617
返品調整引当金	2,081	2,321
その他	2,725	692
流動負債合計	40,030	40,145
固定負債		
リース債務	22	—
退職給付引当金	22,631	23,197
役員退職慰労引当金	3,734	3,649
その他	82	87
固定負債合計	26,472	26,935
負債合計	66,503	67,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,391	6,391
利益剰余金	91,888	92,577
自己株式	△7,227	△4,789
株主資本合計	95,899	99,027
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	398	230
為替換算調整勘定	△108	743
評価・換算差額等合計	290	973
少数株主持分	5,332	5,047
純資産合計	101,522	105,048
負債純資産合計	168,026	172,128

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	41,854
売上原価	10,574
売上総利益	31,279
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	1,822
販売促進費	9,381
運賃及び荷造費	1,321
給料及び手当	9,630
退職給付費用	212
福利厚生費	1,693
減価償却費	632
その他	4,829
販売費及び一般管理費合計	29,524
営業利益	1,754
営業外収益	
受取利息	84
受取配当金	79
為替差益	302
雑収入	62
営業外収益合計	528
営業外費用	
支払利息	29
雑損失	8
営業外費用合計	37
経常利益	2,246
特別利益	
投資有価証券売却益	16
特別利益合計	16
特別損失	
固定資産処分損	18
特別損失合計	18
税金等調整前四半期純利益	2,244
法人税、住民税及び事業税	989
法人税等調整額	449
法人税等合計	1,439
少数株主利益	313
四半期純利益	492

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,244
減価償却費	1,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△565
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	85
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△240
固定資産処分損益 (△は益)	18
受取利息及び受取配当金	△163
支払利息	29
為替差損益 (△は益)	△200
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	2,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,213
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,887
その他の資産の増減額 (△は増加)	△793
その他の負債の増減額 (△は減少)	△500
小計	3,988
利息及び配当金の受取額	156
利息の支払額	△20
法人税等の支払額	△4,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100
有価証券の取得による支出	△7,488
有価証券の売却による収入	9,982
有形固定資産の取得による支出	△1,888
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△425
投資有価証券の取得による支出	△229
投資有価証券の売却による収入	1,265
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	257
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,439
配当金の支払額	△1,180
少数株主への配当金の支払額	△32
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△335
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,389
現金及び現金同等物の期首残高	34,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,704

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	化粧品事業 (百万円)	コスメタリー 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,273	10,053	528	41,854	—	41,854
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	516	516	(516)	—
計	31,273	10,053	1,044	42,371	(516)	41,854
営業利益又は営業損失(△)	2,783	△386	44	2,441	(686)	1,754

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

- (化粧品事業) 主要製品：コーセー・ポーテ ド コーセー・コスメデコルテ・プレディア・インフィニティ・製商品輸出・海外生産品・クリエ・アルビオン
- (コスメタリー事業) 主要製品：ファッション・エルシア・サロンスタイル・ソフティモ・ステイブンノル コレクション・リンメル
- (その他の事業) 主要製品：アメニティ製品・不動産賃貸・原材料輸出

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年5月15日から平成20年6月6日までに、自己株式を市場買付けにより取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,438百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が7,227百万円となっております。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期
	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日 金額(百万円)
売上高	42,457
売上原価	10,335
売上総利益	32,122
販売費及び一般管理費	29,780
営業利益	2,342
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	114
為替差益	97
その他の営業外収益	61
営業外収益計	274
営業外費用	
支払利息	12
その他の営業外費用	7
営業外費用計	20
経常利益	2,595
特別利益	14
特別損失	24
税金等調整前四半期純利益	2,585
法人税、住民税及び事業税	1,518
法人税等調整額	△ 11
少数株主利益	349
四半期純利益	728

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

項 目	前第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
	金額(百万円)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		2,585
減価償却費		1,228
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△	8
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△	624
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)		111
固定資産処分損益(益:△)		24
移転補償金(益:△)		—
受取利息及び受取配当金	△	114
投資有価証券等売却損益(益:△)	△	10
売上債権の増減額(増加:△)		2,866
たな卸資産の増減額(増加:△)	△	3,293
仕入債務の増減額(減少:△)		4,279
その他	△	2,032
小計		5,012
利息及び配当金の受取額		124
利息の支払額	△	6
移転補償金の受取額		—
法人税等の支払額	△	3,815
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,314
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入・払戻による収支(支出:△)		180
有価証券の増減額(増加:△)		998
有形固定資産の取得による支出	△	1,485
有形固定資産の売却による収入		—
無形固定資産の取得による支出	△	68
投資有価証券の取得による支出	△	805
投資有価証券の売却等による収入		110
その他		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	1,069
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少:△)		47
自己株式の売却・取得による収支(支出:△)	△	0
配当金の支払額	△	1,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,186
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△	30
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△	972
VI 現金及び現金同等物の期首残高		31,119
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高		30,147